

農業環境技術研究所が所蔵する昆虫タイプ標本一覧表ならびに画像のWeb公開

農業環境インベントリセンター昆虫分類研究室 中谷 至伸

はじめに

生物種の学名は「属名」+「種小名」で構成される。タイプ標本はこの種小名がどの種を指すか具体的に示す参照標本であり、基本的に生物1種につき世界に1個体しか存在しない貴重な標本である。酷似する種を正確に同定する場合や近似種との関係に疑問が生じた場合には、タイプ標本の参照が必要になることがある。しかし、タイプ標本は世界中の博物館や研究機関に散在していることから、所蔵機関を直接訪問したり、借用を依頼するためには多大な労力と時間、煩雑な手続きを必要とする。また、標本の借用には常に破損や紛失の危険が伴うため、それらを防止するための取り扱いにも気を遣う必要がある。また、タイプ標本の重要性から、機関によっては貸出に対し必ずしも協力的ではないなど、標本参照の困難さが研究を進める上で大きな障害となっている。

世界各地の研究機関が所蔵するタイプ標本の画像がWeb上に公開されれば、形態情報の入手が飛躍的に容易になり、分類学はもとより、生物学全体の発展に大いに貢献すると思われる。また、貸し出し機会の減少によって、1個体しか存在しないタイプ標本の破損や紛失の危険の軽減にも寄与するものと考えられる。そこで農業環境技術研究所では、所蔵している昆虫タイプ標本の一覧と、各タイプ標本の画像などをWeb公開し、タイプ標本を外部から容易に参照できるようにした。

農業環境技術研究所の昆虫タイプ標本

農業環境技術研究所昆虫標本館には現在508種のタイプ標本を所蔵している。これらは昆虫分類研究室歴代のスタッフが新種を公表した際に指定したものに加え、外部の研究者から保管を委託されたものも多く含まれている。これらのタイプ標本の学名、和名、採集日時や場所などのラベルデータ、記載文献などの情報はデータベース化して管理している。分類群別に見ると、コウチュウ目が最も多く、次いでハエ目、ハチ目、カメムシ目の順に多く所蔵されている(表1)。タイプ標本は他の一般標本と区別して、耐火・耐震構造をもったタイプ標本室に保管されている(図1)。

表1 農業環境技術研究所 所蔵タイプ標本の分類群ごとの内訳

目	標本数
コウチュウ(鞘翅)目	237
ハエ(双翅目)	83
ハチ(膜翅)目	83
カメムシ(半翅)目	59
アザミウマ(総翅)目	24
アミメカゲロウ(脈翅)目	10
チョウ(鱗翅)目	9
トビケラ(毛翅)目	3
計	508

タイプ標本一覧および標本情報のWeb公開

農業環境技術研究所で所蔵しているタイプ標本の一覧表を以下のURLで公開した—
<http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/inssys/typelst.htm> (図2)。このうちアミメカゲロウ目10種、コウチュウ目233種、ハチ目36種の計279種について、全体、頭部、翅といったいくつかの部位の画像を前述のタイプ標本データベースに含まれる情報とともにWeb上に公開した。これらの中で、利用

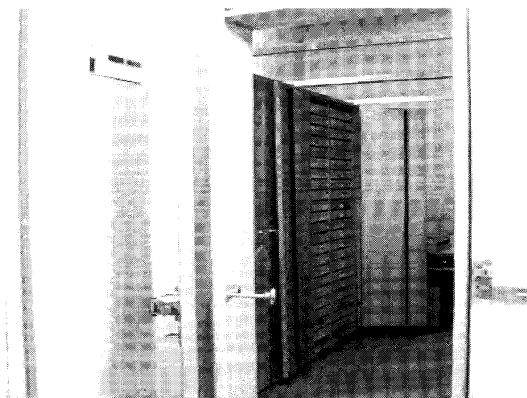


図1 タイプ標本室、手前は防火扉

農業環境技術研究所 標本館所蔵タイプ標本リスト

Coleoptera 鞘翅目 (コウチュウ目)
Carabidae オサムシ科 (1) Nebiinae, Scaphiinae, Paracrinae, Benelliinae


SUBFAMILY	TRIBE	NAME	和名	Link
Nebiinae		<i>Nippoconebria apicalis</i> Habu, 1958	クロチビマルクビゴミムシ	Link
		<i>Nippoconebria pallidus</i> Habu, 1958	チビマルクビゴミムシ	Link
		<i>Nebria blaeseni</i> Habu, 1958	ヒコサンマルクビゴミムシ	Link
		<i>Nebria chinensis</i> Kawanabe, 1981	マルクビゴミムシ	Link
		<i>Nebria subitai</i> Habu, 1962	タテヤママルクビゴミムシ	Link
Scaphiinae		<i>Chisno ichuensis</i> Habu, 1975	ミナミヒメヒョウタンゴミムシ	Link
		<i>Chisno okutanii</i> Habu, 1958		Link
		<i>Dyschirius mansuipennis</i> Habu, 1975	ハネモンチビヒョウタンゴミムシ	Link
Paracrinae		<i>Parabius adigens</i> Habu et Baba, 1962	ヒメヌレチゴミムシ	Link
		<i>Parabius shibataei</i> Habu, 1960	イデヌレチゴミムシ	Link
		<i>Parabius shiroganeai</i> Habu et Baba, 1962	シヨウレングヌレチゴミムシ	Link
		<i>Parabius subadigens</i> Habu, 1977	ジャクチサンヌレチゴミムシ	Link
		<i>Parabius usuii</i> Habu, 1975	サトウヌレチゴミムシ	Link
		<i>Parabius tsunagisai</i> Habu, 1976		Link
Benelliinae	Pogonini	<i>Pogonius tsuchimatsui</i> Habu, 1954	ドワイロハマベゴミムシ	Link

図2 タイプ標本一覧表の一部

タイプ標本

COL-041
***Pterostichus fujimurai* Habu, 1958**
ダイセンナガゴミムシ

Holotype



Dorsal Head Pleurae Genitalia Label

Locality: Mt. Daisen, TOYTORI
Date: 14. VII. 1958
Collector: T. Fujimura
Status: Dried
Ref.: Habu, A., 1958. Three new species of the genus *Pterostichus* from Japan (Coleoptera, Carabidae). Kontyu, Tokyo 26: 68-73.
Note:

図3 タイプ標本情報の一例

者はタイプ標本の所蔵状況およびタイプ標本の形態やラベル情報を外部からも容易に手に入れることができるようになった(図3)。ただし、タイプ標本1点につき公開できる画像の枚数には限りがあり、必要な形態情報に対応しきれない場合がある。より詳細な形態情報が必要な場合は、従来どおり、タイプ標本を直接観察する必要がある。

今後の予定として、平成16年度にハエ目、カメムシ目について公開、17年度に全てのタイプ標本について公開を完了する予定である。

今後、所蔵しているタイプ標本画像をWeb公開する研究機関は増加するものと考えられる。将来、多くのタイプ標本データベースが連結され、画像が一覧できるようになれば、簡易な同定参照資料として専門の分類研究者以外による図鑑的な活用も期待される。

2005年1月